養蜂活動で地産地消スイーツ誕生

地域のつながり再構築に貢献

横浜建設業協会の会員を中心とした養蜂（ようほう）活動によって、横浜の洋菓子会社ありあけ（藤木久三会長）に、地産地消スイーツ「横濱はちみつプリン」が誕生した。ハチミツを提供している「HoneyFieldNetworkYOKOHAMA」の構成メンバーは、各地域でミツバチを活用した地域づくりなどに取り組んでおり、今後もハチミツを使った商品開発などを通して、地域における「つながり」の再構築に貢献していく。

プリンは、神奈川県産の金太郎牛乳を使用。横浜市内で採取されたハニーフィールドネットワークのハチミツをかけ、なめらかな食感とともに牛乳のコクとハチミツの華やかな香りが楽しめる。

横浜市内では、都市における緑環境の普及啓発を目的とした北仲ブリック（横浜市中区）での養蜂活動を皮切りに、市内の建設業者、町内会や大学生などによる養蜂が広がった。現在では、大倉山、和田町、港南台、新横浜など8カ所で展開されている。

東日本大震災を契機に、地域の基盤となる「つながり」を回復するため、各事業者が集まり、ネットワークを設立した。各養蜂事業者の取り組みを尊重しながら、緩やかなネットワークを形成し、小さな活動を重ね合わせることで相乗効果の発揮を目指している。

参加者は、横浜建設業協会の会員であるキクシマ、昭和建設、土志田建設、川口工業、白井組、工藤建設、栗原工務店の7社と、HamaBoomBoom!プロジェクトの計8者。

ありあけの「横濱はちみつプリン」

建設通信新聞

H23年10月11日号

地産地消のスイーツ

ありあけが「横濱はちみつプリン」商品化

横建協らの養蜂活動

ハニーフィールドネットワーク・ヨコハマ（菊嶋秀生理事長）の採取したハチミツを使用する「横濱はちみつプリン」が、ありあけ（藤木久三代表取締役会長）によって商品化され、横浜発の地産地消のスイーツとして注目を集めている。

これは、神奈川県産の金太郎牛乳を使用したコクのあるプリンに、横浜市内で採取された華やかな香りのする同ネットワークのハチミツをかけたもの。ありあけのハーバーズムーン本店、タカシマヤフードメゾン新横浜店、大丸ららぽーと店、京急上大岡店、平塚ラスカ店、東海キヨスク新横浜グランドショップの6店舗において、3個入り1050円（税込）で販売中。

同ネットワークは、横建協会員企業が進める養蜂事業のほか、新横浜を中心に町内会や大学生が協働して実施する養蜂活動など、計8か所で実施されている団体のネットワーク組織。各団体の違いを乗り越え、小さな力を重ねることで相乗効果を発揮し、生活の基盤となる地域の「つながり」を再構築するのが狙い。

参加団体は、▽キクシマ▽昭和建設▽土志田建設▽川口工業▽白井組▽工藤建設▽栗原工務店▽HamaBoomBoom!プロジェクト。

日刊建設産業新聞

H23年10月12日号

横濱はちみつ
プリン
HONEY PUDDING
横濱はちみつ
プリン
横浜市内で採れたハチミツを
使用しておりますので
採れる時期、場所によって
味、風味が変わる場合があります。
横濱はちみつ
プリン
HONEY PUDDING

ありあけ
横濱はちみつ
プリン